



# 消防分署と介護保険は

大山二郎 議員

## 分署建設は31年度目標 介護軽度者サービスは維持

町長

### 消防分署建設の進捗

6月議会で先送りもやむなしと発言したが、町民の生命財産を守る施設として早期建設が必須、検討した結果は、

町長 消防分署完成は31年度を目標とし、住民の理解を得られる用地の選択と財源の確保をし、計画を策定したい。また建設にあたっては災害時に必要な関連物資の備蓄倉庫も兼ね備えた「地域防災拠点施設」にできないか検討していく。

### 用地選定の候補は

町長 まだ申し上げられないが、2、3考えている。

ドクターヘリのランデブーポイント・備蓄倉庫を兼ね備えた分署となれば現在の場所ではできないと思うし、安易な考えで場所選定はすべきではないと思うが。

町長 当然話し合いの段階なので、それらも踏まえて考えていく。

### 介護保険

来年度から介護軽度者への対応が地域支援事業に移行するが、町の対応は、

町長 年度内に事業実施要綱を定め、現在提供されている訪問介護サービスや自己負担額を維持する方向だ。

現在福祉用具貸与・住宅改修については原則自己負担とすることが検討されている。今後他の事は、

業も自治体の裁量に任せられる。対応を間違えれば地域間格差が生まれ、移住による人口減少にもつながる。しっかりとした対応をすべき。

町長 できるだけ住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるよう、医療・介護の連携、予防住まい、生活支援が一体的に供給される「地域包括ケアシステム」の構築に取り組む。



元気が一番！(9/16)

# 議会だより 150号



### ◆議会だより 150号によせて◆

昭和53年10月に第1号を発刊、あいさつでは議会報が住民と町政の絆になることを念願していました。

それから回を重ね今回150号を迎えることができました。

今は「どんなに素晴らしい議会活動でも、それを住民が知らなければ評価は無きに等しい」との思いで、読む人に分かりやすい紙面にしてきました。

これからも町民と町政の架け橋となるような編集を心がけていきます。  
【記 委員長 村形】

## 地方財政の充実・強化を求める請願

- ◆請願者 連合山形北西村山地域協議会 議長 高橋 正昭
- ◆紹介議員 関 幸悦
- ◆請願要旨 国に対して、地方財政の充実をめざし、地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかるため、意見書を提出してください。



## 介護保険制度における要介護軽度者への給付継続を求める請願

- ◆請願者 福祉用具国民会議 青山 共美
- ◆紹介議員 大山 二郎
- ◆請願要旨 介護保険制度における要介護軽度者への給付継続を求めるため、意見書を提出してください。



## 議会を傍聴しませんか

◆次回の定例会は **12月8日(木)～12月14日(水)**の予定です。

お気軽においでください。(議場は役場3階です)

お問い合わせ先 大石田町議会事務局 電話 35-2111(内線312) FAX 35-2118